

平成 29 年度第 8 回運営委員会議事録

- 日 時：平成 30 年 2 月 23 日（金）14:00～16:00
- 場 所：鶴ヶ島市市民活動推進センター
- 出 席：鈴木勝行、宮崎弘子、渡邊 勇、木内勝司、山本実穂、佐藤英人、浅井敬三
- 議 長：鈴木勝行
- 書 記：宮崎弘子
- 資料

- ① 第 23 回荒川流域再生シンポジウムチラシ、② 日本フィランソロピー資料（宮崎）
- ③ 時系列グラフ付マップについて（佐藤）

■協議内容

1. 30 年度助成金・寄付申請について

- ①東京ガスグループ環境保全プログラム「森里海をつなぐプロジェクト」（担当:宮崎）
（経過）

- ・ 2 月 8 日、「公益財団法人日本フィランソロピー協会」より、「東京ガスグループの環境保全プログラムの寄付先候補のひとつとして検討したい。」との連絡があった。
（2 月初め、HP を通じての打診があり、急きょ、荒川流域ネット独自のメールアドレス「arakawa.ryuiki@gmail.com」作成し応募の体制を整えた。）
- ・ 鈴木代表、木内、宮崎で内容の検討を行った。
「夏の都幾川、高麗川、越辺川での魚捕り・川遊びの体験イベントの経費」で申請することとする。
- ・ 2 月 23 日の運営委員会で検討の上、申請書を送付する旨を公益財団法人日本フィランソロピー担当者に伝えた。
- ・ 当運営委員会で申請内容の確認をした。
- ・ 23 日、メールにて申請書を送付。26 日、郵便にて送付。
➡2 月 27 日、「採択、3 月末に寄付金 20 万円を振り込みの予定」との連絡があった。

- ② 武州・入間川プロジェクト助成金申請（担当:宮崎）

- ・ 締切り：3 月 16 日
- ・ 内容：水質マップ作成費（印刷代）他

2. 流域再生シンポジウムの開催についての確認

- ・ 3 月 17 日(土)13 時～16 時 30 分に、国立女性教育会館 101 研修室(定員 99 人)で開催。
- ・ 参加者については声掛け中 ・ 発表者については了解済み。

《集合》10:30

《役割分担》

（司会）廣川 （受付）宮崎、山本実穂 （水かけ“サ”論進行）木内

（会場総括）大熊、木内、佐藤、渡邊 （マイク）大熊、山本実穂

（看板・横断幕準備）鈴木 （パソコン準備）木内、渡邊、佐藤 （文具準備）宮崎

《配布物》

- ・2017年度水質マップ（大熊）
- ・菅間堰遡上調査報告（作成：鈴木）
サイサン基金助成金の活用、200部、3月10日頃納品の予定。
- ・会員募集チラシ（作成：山本実穂） ・他発表資料

3 倉庫移転について

《移転先》比企自然学校里山センター（東松山市岩殿142番地）

《賃貸料》月額4,000円（年額48,000円）に確定した。

《比企自然学校里山センター馬小屋補修費》20,000円＋ α の見込み。

《移転日程》

- ・3月4日（日） 鳩山倉庫での移転準備と棚の移動
集合：10:00～、鳩山倉庫
参加：鈴木、山本（二人）、千葉、浅井、佐藤
- ・3月18日（日）移転
集合：10:00～ 鳩山倉庫
参加：鈴木（正午まで）、宮崎、山本（二人）、千葉、佐藤（正午まで）

4 身近な水環境の全国一斉水質調査の負担金について

事務局の佐山公一さんから、「全国一斉水質調査 運営費確保のための提案」についての連絡があった。（渡邊）

《趣旨》

本年度1月末会計において、運営費（ホームページ維持管理費、発送費等）でかなり赤字となっている。

そのため、第16回身近な水環境の全国一斉水質調査（31年度）より、一団体一律1000円の参加費を集めたい。

《検討》

概ね25団体をまとめている当会の負担金25,000円ほどを、荒川流域一斉水質調査参加団体・者に一律に1,000円を求めるか否かについて、今後、検討を行う。

5 時系列グラフ付水質調査マップについて

地図に表示された調査地点ごとに、2010年～2017年の調査結果のグラフを表示するソフト（Ar-WQ）の開発の概要と今後の課題について佐藤さんから説明を受けた。（配布資料を参照）今後の課題（公開用サーバーについて、2009年以前のデータを追加など）について、意見交換を行った。

◆次回（第9回）運営委員会

3月30日（金）14:00～16:00、鶴ヶ島市市民活動推進センター

以上